

# 農学部 バイオセラピー学科

セラピー

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職	
				一年次	二年次	三年次	四年次		
総合教育科目	導入科目	フレッシュマンセミナー	2	F2					
		情報基礎(一)	2	F2				必	
		情報基礎(二)	2	L2					
	課題別科目	特別講義(一)	2						
		特別講義(二)	2						
		特別講義(三)	2						
		特別講義(四)	2						
		インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2					
		インターナショナル・スタディーズ(二)	2	L2					
		英語科目	必 英語(一)	2	F2				必
		必 英語(二)	2	L2					
	必 英語(三)	2		F2					
	必 英語(四)	2		L2					
	英語リーディング(一)	2	F2						
	英語リーディング(二)	2	L2						
	TOEIC 英語(一)	2			F2				
	TOEIC 英語(二)	2			L2				
	英会話(一)	2		F2					
	英会話(二)	2		L2					
	ビジネス英語	2				F2			
	科学英語	2				F2			
	学部共通	初修外国語科目	中国語(一)	2		F2			
		中国語(二)	2		L2				
		ドイツ語(一)	2		F2				
		ドイツ語(二)	2		L2				
		フランス語(一)	2		F2				
		フランス語(二)	2		L2				
		スペイン語(一)	2		F2				
		スペイン語(二)	2		L2				
	全学共通	スポーツ関係科目	スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2			必	
スポーツ・レクリエーション(二)		1	L2				必		
就職準備科目		キャリアデザイン	1		L1				
		インターンシップ	1			1			
		ビジネスマナー	1			F1			
演習科目	必 共通演習	1	L1						
学部共通	リメディアル教育科目	基礎生物学	2	F2					
	基礎化学	2	F2						
	基礎数学	2	L2						
	文章表現	2	L2						

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職	
				一年次	二年次	三年次	四年次		
専門教育科目	学部専門	必 農学原論	2	F2				農	
		環境科学	2			F2		理化	
		生物化学	2		L2			理化	
		動物福祉	2		L2				
		動物園論	2			L2		理生	
		健康福祉概論	2	F2					
		心理学概論	2	L2					
		知的財産論	2			F2			
		創生型科目	実学的生命活用	2			1		
		農業ビジネスデザイン(一)	2	F2				農	
	農業ビジネスデザイン(二)	2	L2				農		
	学際領域科目	農業経営学	2			F2		農	
		植物生理生態学	2		L2			理生	
		植物生長調節論	2			L2		理生	
		生命科学	2			F2		理生	
		分子生物学	2			L2		理生	
		自然再生技術論	2			F2		理生	
		人間関係科目	選必 生命倫理	2		L2			理生
			科学と哲学	2			F2		
			芸術	2	F2				
			文化人類学	2		F2			
	社会関係科目	選必 日本国憲法	2	F2				必	
		経済入門	2	L2					
		現代社会の諸問題	2		L2				
		国際関係を考える	2		F2				
	自然関係科目	選必 生物学	2	F2				(理生)	
		化学	2	F2				(理化)	
		数学	2	L2					
		物理学	2	L2				(理物)	
	地学	2		L2			(理地)		
学科専門	必 バイオセラピー概論	2	F2						
	必 生物学実験	2		2			(理生)		
	化学実験	2		L4			(理化)		
	必 植物共生学	2	F2				理生		
	必 人間植物関係学	2	L2				農		
	必 野生動物学	2	F2				理生		
	必 伴侶動物学	2	L2				理生		
	必 動物介在療法学(一)	2	L2				農		
	必 植物介在療法学(一)	2	F2				農		
	ボランティア論	2	F2						
生物保全学	2		L2			理生			
家畜生理・生体機構学	2		F2			農			

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
専門 教育 科目	専門基礎科目	遺 伝 学	2	F2				理生
		人 体 生 理 学	2		L2			
		生 物 統 計 学	2		F2			理生
		生 物 環 境 関 係 法 規	2			L2		
		動 物 行 動 学	2			L2		理生
		小 児 発 達 と 生 き 物	2	L2				
		必 農 業 実 習 (一)	2	F2				農
	必 農 業 実 習 (二)	2	L2				農	
	民 族 植 物 学	2			F2			
	植物共生分野の科目	有 用 植 物 資 源 学	2		L2			理生
		植 物 系 統 ・ 進 化 学	2		F2			理生
		植 物 形 態 ・ 分 類 学	2			L2		理生
		社 会 園 芸 学	2		F2			農
		都 市 園 芸 学	2		L2			農
		野 菜 ・ 草 花 の 育 て 方	2			L2		農
		果 樹 ・ 樹 木 の 育 て 方	2		L2			農
		ハ ー プ の 育 て 方	2		F2			農
		野 生 動 物 生 態 学	2	L2				理生
		動 物 資 源 学	2			L2		
		動 物 形 態 ・ 分 類 学	2			F2		理生
		伴 侶 動 物 プ リ ー デ ィ ン グ 論	2			F2		理生
		家 畜 管 理 学	2		F2			農
		家 畜 栄 養 学	2		F2			農
		生物介在療法分野の科目	植 物 介 在 療 法 学 (二)	2		L2		
	園 芸 植 物 活 用 法		2			F2		農
	動 物 介 在 療 法 学 (二)		2			F2		農
	介 在 療 法 動 物 論		2		F2			農
	リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 医 学 概 論		2		L2			
	社 会 福 祉 概 論		2		L2			
	療 法 の 場 の 設 計		2		F2			農
	生 物 介 在 療 法 評 価 法		2		L2			農
	看 護 ・ 介 護 概 論		2		F2			
必 分 野 別 基 礎 実 験 ・ 実 習	2			2				
総合化科目	必 分 野 別 実 験 ・ 実 習 ・ 演 習	6			6			
	必 分 野 別 応 用 実 験 ・ 実 習 ・ 演 習	6				6		
	必 卒 業 論 文	4				4		

卒業要件単位数			
必修科目	選択必修科目	選択科目	計
55単位	12単位	57単位以上	124単位以上

●選択科目には次の単位を加算することができる。

- 1 他学部聴講・他学科聴講・大学間履修・英語による専門教育プログラム・日本語科目・植物介在療法特別プログラムで修得した単位のうち30単位
- 2 選択必修科目のうち、卒業要件単位数を超えて修得した単位

●リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。

- 注) 1 週時間数のFは前学期配当科目, Lは後学期配当科目を表す。
- 2 学科基礎科目の人間関係科目は4科目中から2科目を選び必修とする。
  - 3 学科基礎科目の社会関係科目は4科目中から2科目を選び必修とする。
  - 4 学科基礎科目の自然関係科目は5科目中から2科目を選び必修とする。
  - 5 総合教育科目の初修外国語は在学中1ヶ国語のみ履修することができる。(複数の外国語の履修は認めない)
  - 6 学科専門-専門基礎科目の「農業実習(二)」は、一部を集中に開講する。
  - 7 学科専門-専門基礎科目の「生物学実験」と総合化科目の「分野別基礎実験・実習」は、隔週で通年開講する。
  - 8 学科専門-総合化科目の「分野別実験・実習・演習」・「分野別応用実験・実習・演習」は、隔週で通年開講する。

区分欄の必は必修科目,選必は選択必修科目を表す(空白は選択科目)。  
教職欄の○は,教職必修科目を表す。

# 植物介在療法特別カリキュラム

## 1. カリキュラム設置の目的

時代の急激な変化や諸々の社会問題は、人々に大きなストレスや焦燥感を与え、現代社会では、こころに関係する病が増加しています。一方、生き物は人々の心を和ませ、安らぎや快感、活力、生気を与え、交流の場を創り出します。そこで、これまでの経済主導型の農学ではなく、人々の心身の健康の回復や維持・増進、さらには癒しなど、新たな生き物の役割が注目され始めました。高齢者や障害者のほか、療法的支援を必要とする人々を対象とした、生き物の療法的活用（生物介在療法）が全国各地の福祉施設や医療機関で注目され、その専門家の育成が早急に望まれています。

このような社会状況をうけ、本特別カリキュラムでは、医療・福祉・教育分野で活躍できる、植物を活用した生物介在療法を社会で啓蒙・普及実践できる人材を育成することが目的です。

植物介在療法分野においては、日本園芸療法学会と連携し、学会認定資格（認定登録園芸療法士、専門認定登録園芸療法士）取得のための教育体制を整備しています。

## 2. 内容

療法的支援が必要な方は、各々に医学的疾患、障害の種類・程度もさまざまです。そのうえ、個々に異なる人生観・生活背景があるため、園芸療法士は個々の対象者と対面しながら、固有の状況、状態、情報を統合し、現実のなかで実践的に問題を解決する能力が必要となります。本カリキュラムは、学内教育および学外実習で構成しており、学生は、園芸療法分野、園芸学分野、医療・福祉分野・マネジメント分野を学際的に学び、その学んだことを社会で実践するために学外実習へ臨みます。

学外実習では、高齢者福祉施設、精神科医療施設、小児医療施設などの関連施設で実際に専門認定登録園芸療法士から指導を受け、学生自らが対象者の方や社会問題と向き合います。学外実習で得た新たな知識や課題は、学内教育で整理して学び直し、新たな目的をもって次の実習へ臨みます。このように、学内教育と学外実習を連動して実施することにより、柔軟な思考と的確な問題解決の力を育む教育カリキュラムを提供しています。

## 3. 開講科目

植物介在療法特別カリキュラム	授業科目	単位数	配当学年	配当学期	授業科目	単位数	配当学年	配当学期
	カウンセリング論	2	3	L	生物によるリハビリテーション	2	3	L
	コミュニケーション論	2	3	F	植物のふやし方	2	3	F
	医療・福祉政策	2	3	F	療法用植物の栽培	2	3	L
	医学一般	2	3	F	園芸療法実習(一)	2	3	T
	人間生物関係の精神医学	2	3	F	園芸療法実習(二)	2	3	T
	生き物による作業療法	2	3	F	園芸療法実習(三)	6	4	T

※配当科目学期欄のFは前学期、Lは後学期、Tは通年科目を表します。

## 4. 本カリキュラムの特色

### 1) 開講の対象

本カリキュラムは農学部バイオセラピー学科の学生を対象としたカリキュラムで、開講学年は3・4年次となります。

### 2) 受講の条件について

原則として学科開講の基礎科目（下記9科目）を2年次までに修得していることが条件となります。ただし、正当な理由（編入生、教職課程の授業と重なるなど）により、すべての単位が履修できていない学生、他学科・他学部で関連基礎科目をすでに習得している学生などは、条件により受講を認める場合があります。

## 【2年次までに修得しておくべき学科開講科目】

植物介在療法（一）、植物介在療法（二）、生物介在療法評価法、看護・介護概論、リハビリテーション医学概論、社会福祉概論、健康福祉概論、心理学概論、療法の場の設計

### 3) 授業の開講について

各講義科目（関係科目）は、原則として各学期で週1時限（1コマ90分）開講の2単位です。園芸療法実習を除き厚木キャンパスで開講します。

### 4) 実習について

園芸療法実習は、3年次の短期実習と4年次の長期実習で構成されています。

#### ①短期実習（3年次）

園芸療法実習（一）：医療・福祉施設での短期実習および園芸療法基礎実習

園芸療法実習（二）：医療・福祉施設での短期実習および評価実習

#### ②長期実習（4年次）

園芸療法実習（三）：医療・福祉施設での長期実習（30日間×2施設）

## 【注意事項】

4年次の長期実習を受講するためには、植物介在療法特別カリキュラムの3年次開講科目をすべて修得していることが条件となります。なお、実習先と期間は、学生の適性や希望を考慮したうえで決定します。実習前に実施する個別面談や実習オリエンテーションに不参加の場合は、受講できない場合があります。

### 5) 修得単位数について

本カリキュラムによる修得単位は、他学科・他学部聴講により修得した単位との合計修得単位のうち30単位までを選択科目として卒業要件単位に加えることができます。

### 6) その他

園芸療法実習（一）、（二）、（三）にかかる交通費は、実習生負担となります。なお、園芸療法実習（三）の長期実習には実習先に支払う委託管理費（実習指導料）がかかります。また、長期実習先が遠隔地の場合は宿舎が利用できますが、利用料は実習受入施設によって異なります。

科目名	実習地	委託管理費（実習指導料）	施設利用料（宿舎利用料）	生活費・光熱水費
園芸療法実習（一）	東京都・神奈川県	—	—	—
園芸療法実習（二）	東京都・神奈川県	—	—	—
園芸療法実習（三）	神奈川県・愛知県など	400円/日×30日×2施設	10,000～15,000円/月	実費

\* 上記は現在の実習指導料および施設利用料です。金額は年度によって多少変動する場合があります。

## 5. 園芸療法士の資格取得について

バイオセラピー学科で所定の単位と本カリキュラムを修得し、日本園芸療法学会が定める学会所属年数を満たすことで、日本園芸療法学会「認定登録園芸療法士」の受験資格が得られます。認定登録園芸療法士とは、園芸療法に必要とされる、園芸療法、園芸、医療、福祉、マネジメントの分野での、一定水準の知識と技術を持ち、対象者の全人的QOLの向上に関わることのできる者です（日本園芸療法学会ホームページ）。

なお、「専門認定登録園芸療法士」の受験資格には、5分野78単位（園芸療法10単位、園芸学関連40単位、医療関連20単位、福祉4単位、マネジメント4単位）の修得が必要となります。資格取得をめざす人は4年間で必要単位を取得するように各自で計画してください。高度な知識と技術を習得するために、卒業後2,000時間の実務経験（バイオセラピー学専攻博士前期課程の演習などで対応可能）を経る必要があります。

なお、資格認定基準は変更になる可能性があります。資格取得をめざす学生は、日本園芸療法学会ホームページ

<http://www.jhta2008.join-us.jp/index.html> を参照してください。

## 6. 履修上の注意事項

本カリキュラムは農学部バイオセラピー学科の学生を対象とします。他学部・他学科の学生は履修できません。